



## 言葉遣いを整えよう！

11月の生活目標は「言葉遣いを整えよう」です。子どもたちの家庭での言葉遣いは、いかがでしょうか。潮見っ子に限らず、今の子どもたちの言葉遣いは総じて乱暴なように感じます。子どもは、今の社会を反映しているので、私たち大人が襟を正さないといけないと思います。大人が正しい言葉遣いをすることで、それが手本となってよりよい言葉遣いが身に付くのではないのでしょうか。

よりよい言葉遣いについて考えるとき、2つの視点があります。一つは、人、時、場に応じた言葉遣いができることです。目上の人に対しては、敬語や丁寧な言葉で話すことができることが望ましいです。授業をしているときや見学先なども同じです。一方で、親しい中で丁寧過ぎる言葉を使うと、かえって違和感を覚えることもあります。具体的な例を挙げながら、正しい言葉遣いができるようにしていきたいと思います。

もう一つは、思いやりのある言葉遣いができることです。今月の生活目標は、こちらに近い内容です。「ありがとう」「大丈夫？」「一緒に頑張ろう」といった感謝の気持ちや相手の思いに寄り添う姿勢を表す言葉を使うことが、よりよい人間関係を築く上で大切になります。インターネットやSNS等での誹謗中傷によって傷付いたり、場合によっては命を落としたりする例もあります。言葉にはそれだけ強い力があるということを理解した上で、よりよい言葉遣いをする必要があります。「なぜその言葉が適切なのか」「どうしてその言い方は失礼になるのか」ということを、子どもたち同士で話し合ったり、教師が納得できるように説明したりしていきたいと思います。

今週、学校では、「よい言葉」と「よくない言葉」を学級内で出し合うことで、考えを深めていくようにしています。よりよい言葉遣いができるように、学校全体で取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

### 【11月の生活目標】

「言葉遣いを整えよう」

○優しい言葉

○うれしくなる言葉

○あたたかい言葉

×心が傷つく言葉

×嫌な思いをする言葉

×心が苦しくなる言葉



## 地域とのつながいを生かして5

10月31日（金）に、地域の方をお招きして、3年生が「潮見ふるさと音頭」を踊りました。総合的な学習の時間「受けつごう ふるさと潮見」の単元で、地域のよさを味わう学習の一環として今回の体験学習を行いました。子どもたちは、実際に踊ってみて、それぞれの振りに意味があることを知りました。「ふるさと潮見音頭」は、地域の特長が歌詞に表れています。歌詞の中身を知ることも「ふるさと潮見」を愛するきっかけになるはずで、地域の行事でも披露されることの多い「潮見ふるさと音頭」ですから、いつでも踊れる潮見っ子であってほしいと思います。ご指導くださった地域の皆様、ありがとうございました。

